

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト グリーン

## 群馬R&Dセンタ ビオトープの「草花図鑑」を作成 特例子会社の10年にわたる緑化活動の成果を冊子化。研究・教育機関に配布

株式会社アドバンテスト グリーン（本社：埼玉県加須市 社長：荒木 武）は、アドバンテスト群馬R&Dセンタ（群馬県明和町）内のビオトープ<sup>(\*1)</sup>に生息する植物を紹介した冊子「ビオトープ草花図鑑」をこのたび作成いたしました。

[https://www.advantest.com/documents/11348/1073608/picture\\_book\\_all.pdf](https://www.advantest.com/documents/11348/1073608/picture_book_all.pdf)



左)「ビオトープ草花図鑑」表紙 右)群馬R&Dセンタ ビオトープ風景

アドバンテスト グリーンは、株式会社アドバンテスト（本社：東京都千代田区 社長：黒江 真一郎）の事業所の環境衛生管理・緑化サービスを主な業務として、2004年に設立されました。アドバンテスト・グループの特例子会社<sup>(\*2)</sup>として、設立当初から障がい者雇用に積極的に取り組み、企業の社会的責任（CSR）を果たしています。また、2011年には、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構より、「障害者雇用優良事業所」として表彰を受けています。

「ビオトープ草花図鑑」は、アドバンテスト グリーンの創立10周年を記念して作成しました。A5版全54ページの冊子には、社員たちが丹精込めて手入れを続けてきたビオトープの、四季折々の美しい草花が収められています。社員たちの10年間の感謝の気持ちとして、冊子はこれまでご支援いただいた、研究・教育機関をはじめとする関係諸団体に配布し、環境教育に役立てていただきます。

群馬R&Dセンタ内のビオトープは、「自然と共生し、失われつつある昔ながらの関東平野の原風景を再現する」をコンセプトに、2001年の開設以来、周辺の生態系に配慮しながら時間をかけて作り上げてきました。総面積約17,000㎡の敷地には、環境省レッドリストの準絶滅危惧種を含む多様な動植物が生息するほか、夏には自生したホタルを観察できます。また、地域社会とのコミュニケーションの場として、事業所近隣地域の小学校を対象とした自然観察会を開催しています。

アドバンテスト・グループはこれからも、障がい者雇用の創出、環境保全、地域コミュニティへの参画といった、CSR 課題に積極的に取り組んでまいります。

(\*1) ビオトープ

動植物が自然の状態で生息できる空間。木立や水辺などを整備するほか、巣箱や石積み、伏伐材などを適所に配置し、多種多様な動植物が集える場を提供し、生物多様性の保全に努めています。

アドバンテストのビオトープについては、以下 URL をご参照ください。

<https://www.advantest.com/biotope>

(\*2) 特例子会社

特例子会社（制度）とは、障害者の雇用の促進及び安定を図るため事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているとみなして、実雇用率を算定できることとしている。（引用：埼玉労働局）

アドバンテスト グリーンは埼玉県で 9 番目、全国で 156 番目に認可されました。

<b>本件に関するお問い合わせ先</b>
----------------------

株式会社アドバンテスト グリーン TEL: 0480-72-6821

株式会社アドバンテスト 広報・IR部 TEL: 03-3214-7500